

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 稲作を主体とした中山間地域。
- 高齢化による離農等が加速しているため、担い手の確保と農地を維持していく体制の構築が喫緊の課題。

【支援内容・背景】

- 当地区は農業者の減少・高齢化が進行しており、農地の受け手となる担い手の確保・育成が必要。
- 助成対象者は農地の受け手としての役割を果たしており、今後も離農が進むことなどにより、経営面積が更に拡大する見込み。
- 機械導入の支援を行うことで、農地の受け手としての機能を強化し、地域内で持続可能な体制を確立。



助成対象者「(有)穂海農耕」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成17年 設立
- 平成19年 農業経営改善計画の認定
- 平成19年 国内初のJGAP団体認証（穀物）取得
- 平成27年 経営面積が大幅に拡大（約60 ha→約100 ha）
- 平成29年 ASIAGAP（穀物）認証取得
- 令和5年 経営面積が更に大幅に拡大（約180 ha→230 ha）

《事業活用の背景》

○ コンバインを導入することで、生産の効率化や経営コストの縮減を図り、経営面積の拡大に対応できる体制を構築。また、農地の受け手である助成対象者への集約化に重点を置いた農地利用の実現に寄与。

【事業実施時の状況】
〈R4年度〉

○売上高 114,000千円

○経営面積 183 ha

（ 水稻 157.8 ha
WCS用稲 4.7 ha
大麦 4.8ha、そば 8.4ha ）

《事業による整備内容》

- コンバイン6条刈り・1台
- 事業費 15,890千円
（国費 4,867千円）



【現在の経営状況】
〈R6年度〉

○売上高 315,000千円(276 %)

○経営面積 244 ha(133%)

（ 水稻 173.3 ha
WCS用稲 41.2 ha
大麦 4.8 ha、そば 4.8 ha ）

事業の
効果

《対象者》 機械の導入による生産の効率化によって農地を維持できる体制を整えることで、経営面積及び売上高が拡大。

《地 区》 助成対象者への地域内の農地の集積・集約化によって、耕作放棄地の発生防止に寄与。